

24 HEURES DU MANS 1998

トヨタモータースポーツニュース

速報 No.1

平成10年 1月26日
トヨタ自動車(株)広報部

TOYOTA GT-one

テスト走行開始の模様

現地発： 1月26日 午前10時00分

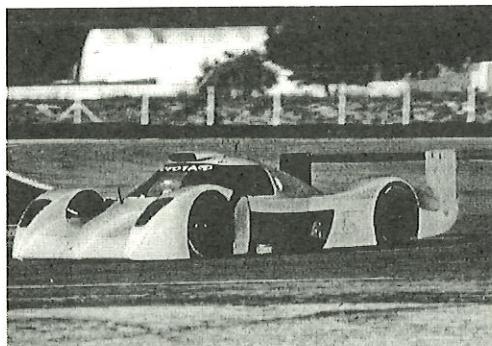
'98年ル・マン24時間レース スケジュール

5月3日(日) 予備予選	6月4日(木) 予選第2日目
6月1日(月) 車検(ジャコバン広場)	6月6日(土) 午後2時 決勝レーススタート
6月2日(火) 車検(ジャコバン広場)	6月7日(日) 午後2時 決勝レースゴール
6月3日(水) 予選第1日目	

"トヨタTS020" '98年ル・マン24時間レースへ向け発進 GTカー "TOYOTA GT-One" 南仏ポールリカールサーキットでテスト走行を開始 開発ドライバーのM.ブランドルが "ル・マン" へ向けて熟成中

6月6日、7日の両日フランスのル・マンで開催される"ル・マン24時間"レースへ向けて、"トヨタTS020"(TOYOTA GT-One)のテスト走行が開始された。この"トヨタTS020"は、ル・マン24時間レースへGT-1クラスから出場するもので、競技規則に従い、公道の走行が可能なGTカーとしての型式認証の取得を目指して、鋭意開発が進められてきた。トヨタ自動車(株)の100%子会社であり、ヨーロッパでのモータースポーツ拠点として位置づけられるTTE(トヨタ・チーム・ヨーロッパ)が手がけた先進的なボディには、トヨタが開発したル・マン24時間レースでの実戦経験豊富な3.6リットル/V8/ツインターボエンジンを、TTEにおいてさらに改良を施して搭載。TTEのル・マンプロジェクトにおいてチーム監督を務めるアンドレ・デ・コルタンツ(ブジョーチームのテクニカルディレクターとして'92年、'93年のル・マン24時間レースで勝利)の指揮のもと、南仏のポールリカールサーキットをはじめとして熟成テストが続いている。ドライバーには、元F1ドライバーでメイン開発ドライバーを務めるM.ブランドル(ジャガーXJR-12で'90年のル・マン24時間レースに勝利)を始め、やはり元F1ドライバーのT.ブーツェン、R.ケレナース、E.コラールに、ル・マン24時間レースでの経験豊富なG.リースとE.ヒラリーを加えた6名のヨーロッパ勢と、現在検討中の3名の日本人ドライバーが予定されている。ル・マン24時間レースには、3台体制で出場の予定で、5月3日の予備予選に向けて各種テストプログラムが組まれた"トヨタTS020"(TOYOTA GT-One)は、6月6日午後2時に"24時間のドラマ"へとスタートを切る。

TTE代表O・アンダーソンのコメント: TTEが、ラリーでの輝かしい歴史に加え、今回トヨタのル・マン・プロジェクトに参加し、GTカーを製作するチャンスを与えられたことを大変嬉しく思う。アンドレ・デ・コルタンツと彼のデザイン、開発チームは、非常に素晴らしいレースの経験を持っており、"TS020"は、ル・マン24時間レースを、よりエキサイティングなものにするものと信じている。また、ドライバーも経験とヤル気のあるベテランが次々と集まって来てくれている。しかし、このル・マンプロジェクトは、始まったばかり。初年度は、それほど高い目標は、設定していない。ル・マン24時間レースで、最も大切な事は、勝ち負けにも勝る、ドラマのキヤウトになることだ。TTEの総力を挙げて、素晴らしいドラマを演出したい。



南仏でテスト走行を開始した "TOYOTA TS020"

TOYOTA
motor sports

トヨタ・ワークスのル・マン24時間レースでの戦績

1990	トヨタ90C-V	6位
1992	トヨタTS010	2位
1993	トヨタTS010	4位

左記写真のカラープリントをご入用の方は、
下記までご連絡下さい。

お問い合わせ : トヨタ自動車(株)広報部
第1商品技術広報グループ 酒井・鴨田

Tel03-3817-9121

TTE
TOYOTA TEAM EUROPE

24 HEURES DU MANS 1998

トヨタモータースポーツニュース

速報 No.2

平成10年 3月20日
トヨタ自動車(株)広報部

ル・マン24時間レースへ日本人トリオがTS020で挑戦

片山右京、鈴木利男、土屋圭市の3人が日本人チームを構成
外国人チーム2台6人と共に3台体制でTOYOTA motorsportsから出場

6月6日、7日の両日にフランスのル・マン市で開催される恒例のル・マン24時間レースに、3人の日本人ドライバーが注目のトヨタ TS020で出場する。片山右京、鈴木利男、土屋圭市の3人がTOYOTA motorsportsから参戦するもので、6人の外国人ドライバーと共に3台体制で出場する。今年で66回目の開催を迎えるル・マン24時間レースは、1923年以来の長い伝統を誇るとともに、一般公道を閉鎖して行われる唯一の耐久レースとしても知られており、世界中の注目を集めて今年も激戦が予想される。

トヨタ自動車(株)は、この世界最大の国際耐久レースに向け、TTE(トヨタチームヨーロッパ)が開発、製作したTS020を5月3日にル・マンで行われる予備予選に向けて鋭意テスト中で、その成果に期待が集まっている。3台体制で出場するTS020の内1台を構成する日本人チームには、経験豊かなドライバー3人を起用する。

片山右京は、6年間にわたり活躍してきたF1ドライバーから昨年引退を表明して以来、初の国際舞台への出場となる。ル・マン24時間レースへの参戦は、「88年(チーム・クラージュ)、「92年(トヨタ・チーム・トムス)に続き3度目となるが、「92年出場時にはトヨタ TS010で出場、その経験を活かして、現在積極的にTS020の開発に加わっている。土屋圭市は、国内レースで活躍するとともに、「94年から昨年まで、連続して4年間にわたりル・マン24時間レースに参戦。「95年には、クラス優勝を獲得している。

鈴木利男は、「85年の初出場以来、「96年まで8回にわたりル・マン24時間レースに参戦。「93年には関谷正徳、E・アーバインと組み、トヨタ・チーム・トムスからTS010で出場している。3人の日本人ドライバーは、4月に予定されているベルギーのスパ・フランコルシャンサーキットでの合同テストを経て、予備予選、決勝レースへと臨む。なお、トヨタ TS020で、3台体制を組む6人の外国人ドライバーは下記の通り。マーティン・ブランドル(イギリス)、ジェフ・リース(イギリス)、ティエリー・ブーツェン(ベルギー)、エマニュエル・コラール(フランス)、ラルフ・ケレナーズ(デンマーク)、エリック・ヘラリー(フランス)。

'98年ル・マン24時間レース スケジュール

5月2日(土) 予備予選車検	6月3日(水) 予選第1日目
5月3日(日) 予備予選	6月4日(木) 予選第2日目
6月1日(月) 車検(ジャコバン広場)	6月6日(土) 午後2時 決勝レーススタート
6月2日(火) 車検(ジャコバン広場)	6月7日(日) 午後2時 決勝レースゴール

お問い合わせ: トヨタ自動車(株)広報部 第1商品技術広報グループ 酒井・鴨田 Tel03-3817-9121

TOYOTA
motor sports

TTE
TOYOTA TEAM EUROPE

24 HEURES DU MANS 1998

トヨタモータースポーツニュース

速報 No.3

平成10年 4月 9日
トヨタ自動車(株)広報部

TOYOTA GT-one

耐久テストの模様

現地発： 4月 8日 午前11時00分

“トヨタ TS020” ル・マンへ向け耐久テストを実施 あいにくの豪雨で中断するも“スパ・フランコルシャン”サーキットを舞台に2台が熟成を確認 片山右京／鈴木利男／土屋圭市日本人トリオも5月の予備予選に確かな手応え

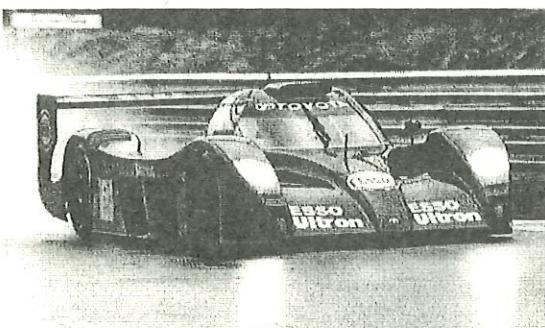
6月6日、7日の両日フランスのル・マンで開催される“ル・マン24時間”レースへ向けて、“トヨタ TS020”(TOYOTA GT-One)の耐久テストがベルギーのスパ・フランコルシャン・サーキットで、4月6日、7日、8日の3日間にわたり行われた。今回のテストには、片山右京、鈴木利男、土屋圭市の3人の日本人ドライバーに、M.ブランドル、T.ブーツェン、E.コラール、G.リース4人の外国人ドライバーが加わり、2台の“トヨタ TS020”がテストされた。7日午前10時から、本番ながらの耐久テストがスタート。今回は待望のウェットコンディションでのテストとなつたが、あまりの豪雨にテストスケジュールが制約を受けることとなつた。そして、7日午後8時過ぎから強まった風雨のため、“トヨタ TS020”は、しばし、雨宿りのピットイン。さらに午後9時過ぎには、雨足が強くなり、前方視界の確保もままならない状況となつたため、やむなく2台とも夜間走行を断念した。翌日、夜明けとともにテストが再開され、3人の日本人ドライバーと4人の外国人ドライバーは、精力的にテストランを敢行。しかし、午前10時過ぎに、降り続く豪雨によりテストは中止となつた。今回の耐久テストでは、当初予定していた24時間の走行は出来なかつたものの、通算13時間を走り切つた“トヨタ TS020”に、予備予選、そして決勝への自信がみなぎつてゐる。なお、4月3日、TTEにおいて、ル・マン出場車のベースとなる“TS020”(TOYOTA GT-One)のロードバージョン車が、ル・マンのオーガナイザーであるACOの認可を受けるなど、6月の決勝レースに向け着々と準備が進められている。

トヨタモータースポーツチーム代表 O・アンダーソンのコメント: 今回、ドライバーには熟成をかさね、よりパワーアップし、空力特性を向上させた“TS020”をテストしてもらつた。予想を超える豪雨になつてしまつたが、ウェットコンディションでの貴重なデータを取ることが出来た。これからもテストを繰り返しさらなる熟成をはかる。

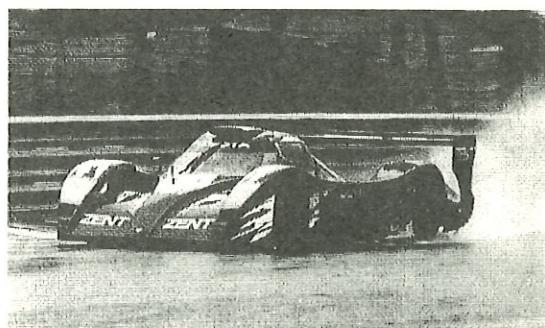
トヨタモータースポーツ ドライバー 片山右京のコメント: このスパ・フランコルシャンのサーキットは、F1で何回も走つているが、こんなに凄い雨は、初めての経験でびっくり。すでにポールリカール・サーキットを中心に4000km以上のテスト走行を行い、主にドライコンディションでの開発熟成は確認しているものの、今回はルマンでも考えられる雨中走行も経験できたのは意義深かった。

トヨタモータースポーツ ドライバー 鈴木利男のコメント: 初めての“トヨタ TS020”的テストが雨にたたられるとは、思つてもいなかつた。今回のテストは、ドライコンディションではなかつたが、走りのフィーリングには充分な手応えを感じた。これからの予備予選、そして決勝レースへ向けてのさらなる熟成が楽しみだ。

トヨタモータースポーツ ドライバー 土屋圭市のコメント: 初めて“トヨタ TS020”的ステアリングを握つたが、とにかく凄く速いのに驚かされた。とくに、ターボの効きだした高回転からのパワーは素晴らしい、この豪雨の中でも、とても楽しく今まで経験したことのない本格的なレーシングカーの醍醐味を満喫することができた。



片山右京、鈴木利男、土屋圭市の日本人トリオが
テストドライブをする“トヨタ TS020”1号車



M.ブランドル、T.ブーツェン、E.コラール、G.リースが
テストドライブをする“トヨタ TS020”2号車

左記写真のカラープリントまたはデジタルデータ(JPEG 264K, 220K)をご入用の方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ: トヨタ自動車(株)広報部 第1商品技術広報グループ 酒井・鴨田

Tel: 03-3817-9121 E-Mail: 1202126@mail.toyota.co.jp

TOYOTA
motor sports

TTE//
TOYOTA TEAM EUROPE

24 HEURES DU MANS 1998

トヨタモータースポーツニュース

速報 No.4

平成10年 4月24日
トヨタ自動車(株)広報部

TOYOTA GT-one

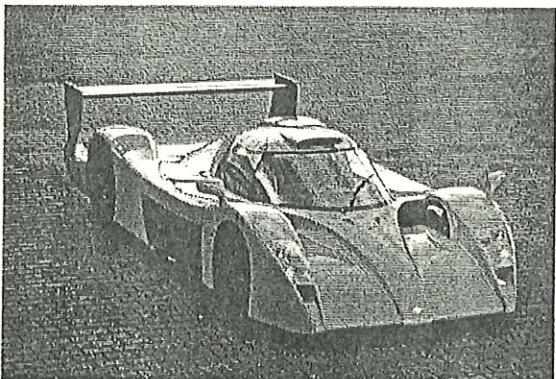
予備予選を前に主催者の審査を通過

GT-1クラス出場のためのロードカー仕様車が認証

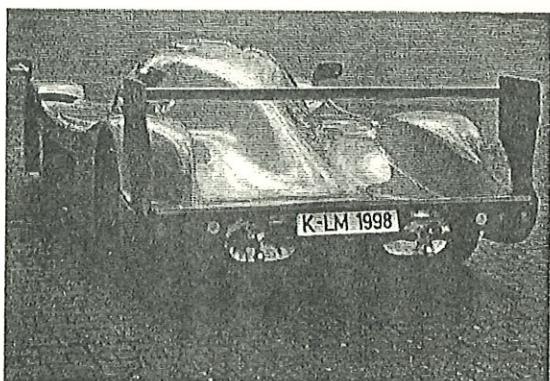
ル・マン24時間レース出場へ向け、ロードカーが完成

5月3日の予備予選、6月6日/7日の決勝レースへ“トヨタ TS020”開発順調
ロードカー“TOYOTA GT-one”は、グラマラスな2シーターGT

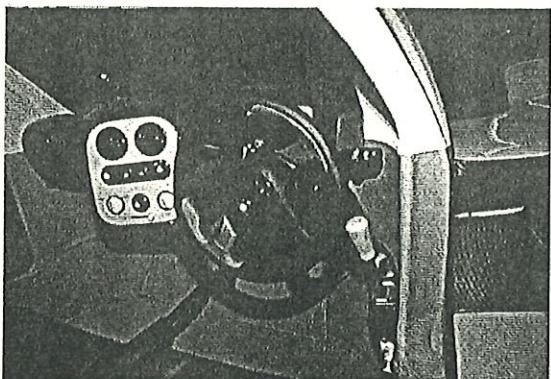
ル・マン24時間レース出場のための予備予選を前に、4月3日“TOYOTA GT-one”が認証を受けた。これは、ル・マン24時間レースのGT-1クラスへ出場する“トヨタ TS020”的ベース車両としてレースの主催者であるA.C.Oの審査承認を受けたもので、今後は、EU認証などを獲得、今秋を目途に、一般公道を走行可能なナンバーを取得する予定である。今回完成した“TOYOTA GT-one”は、強烈な走りを予感させる大胆なエアスクープを採用すると共に、流れるようなボディラインにより、グラマラスな外観を実現している。ピーター・スティーブンス(マクラーレンF1-GTRやロータス・エリーゼのインテリアも手がけたデザイナー)の手によるインテリアは、本革があしらわれ、豪華そのもの。この2座席の本格的GTカーは、一般公道の走行用にロードクリアランスを確保するのはもちろん、やはり一般公道の走行に必要な衝突安全性能をクリアし、排気系には触媒を備えるなど、ロードゴーイングカーとしての設計が施されている。6月に行われる伝統のル・マン24時間レースへ3台体制での出場が予定されている“トヨタ TS020”も、当初から高性能ロードカーの開発と、並行して設計開発が進められており、ベース車両となる“TOYOTA GT-one”的究極の走行性能を、世界一過酷な耐久レースでいかんなく発揮することとなる。



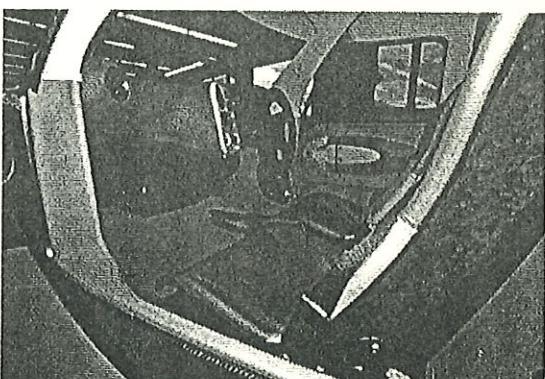
ロードカーフロントビュー



ロードカーリアビュー



スバルタンなコクピット



本革張りのインテリア

上記写真のカラー版をご入用の方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ：トヨタ自動車(株)広報部 第1商品技術広報グループ 酒井・鴨田
Tel:03-3817-9121 E-Mail:1202126@mail.toyota.co.jp

TOYOTA
motor sports

TTE
TOYOTA TEAM EUROPE

TS020 主要諸元

車両名称	トヨタ GT-one
型式名称	TS020
全長	4,840mm
全幅	2,000mm
全高	1,125mm
ホイールベース	2,800mm
トレッド前／後	1,600mm／1,644mm
シャシー	カーボンファイバーコンポジット一体成型
サスペンション	プッシュロッド式ダブルウィッシュボーン（前／後）
ブレーキ（前／後）	カーボンファイバーベンチレーテッドディスク (ロードカーはスチール製)
タイヤ	A Pレーシング製6ポットキャリパー（レース仕様のみ）
ホイール	ミシュラン製
ギアボックス	スピードライン製TTEオリジナルマグネシウムホイール
クラッチ	TTE製6速シーケンシャル
燃料タンク	ザックス製4プレートカーボンクラッチ
ボディーワーク	100リッター（レース仕様） 60リッター（ロードカー仕様） カーボンファイバーコンポジット
エンジン名称	R36V-R
型式	水冷V8ツインターボ
ターボチャージャー	ギャレット製
インターフーラー	デンソー製
総排気量	3.6リットル
燃料供給方式	EFI
潤滑方式	ドライサンプ方式
最大出力	600ps

TOYOTA
motor sports

TTE
TOYOTA TEAM EUROPE

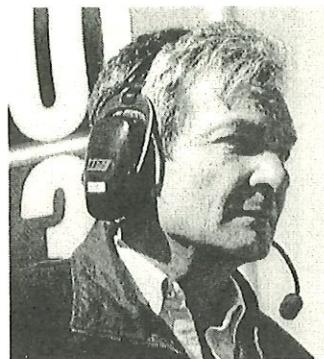
TOYOTA motorsportsチームメンバー プロフィール

■チーム監督・TTEル・マンプロジェクトリーダー

Andre de Cortanze (アンドレ・デ・コルタンツ) 生年月日： 1941年3月30日 出身地： フランス

テクニカルディレクターとして：

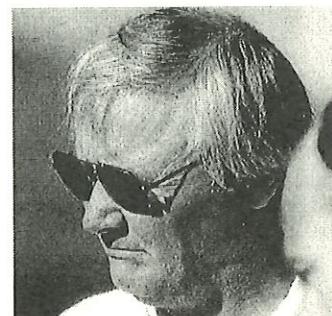
- 1978年 ルノーチームでル・マン24時間耐久レース優勝
- 1985年 プジョーチームで世界ラリー選手権制覇
- 1986年 プジョーチームで世界ラリー選手権制覇
- 1987 & 1988年 プジョーチームを率い、パリ・ダカールラリーを含む
17のラリーレイド全戦優勝
- 1989年 プジョーチームでパイクスピークヒルクライム（アメリカ）優勝
- 1990年 プジョーチームでパイクスピークヒルクライム（アメリカ）優勝
- 1992年 プジョーチームでル・マン24時間耐久レース優勝
- 1993年 プジョーチームでル・マン24時間耐久レース優勝
- 1994～1996年 F1ザウバーチームとリジェチームにテクニカルディレクターとして参加
- 1997年1月 TOYOTA motorsportsのル・マンプログラムプロジェクトリーダーに就任



■チーム代表・TMG（TTE）社長

Ove Andersson (オベ・アンダーソン) 生年月日： 1938年1月3日 出身地： スウェーデン

- 1961年 ラリーに初出場
以来、サーブ、ランチア、フォード、ルノーよりラリーへ参加
- 1971年 WRC 4勝（モンテカルロ他）
- 1972年 初めてトヨタからセリカでRACラリーに出場
- 1975年 後にTTEとなるアンダーソンチームを設立
その年、チームは1000湖ラリーで初優勝（ハンヌ・ミッコラ）
- 1979年 TTE、アンダーソンモータースポーツ（有）として西ドイツ、ケルンへ移転
80年代に入り、ドライバーから徐々にチームマネージメントに専念
- 1987年 TTE工場を拡張し、セリカGT-FOURを開発
- 1993年 トヨタモータースポーツ（有）を設立（トヨタ100%資本となる）、社長に就任
- 1993～1994年 TTEとしてWRCメイクスチャンピオン獲得



現在TMG（TTE）社長

■チーム副代表・TMG（TTE）副社長

Makoto Matsui (松井誠) 生年月日： 1948年5月23日 出身地： 日本

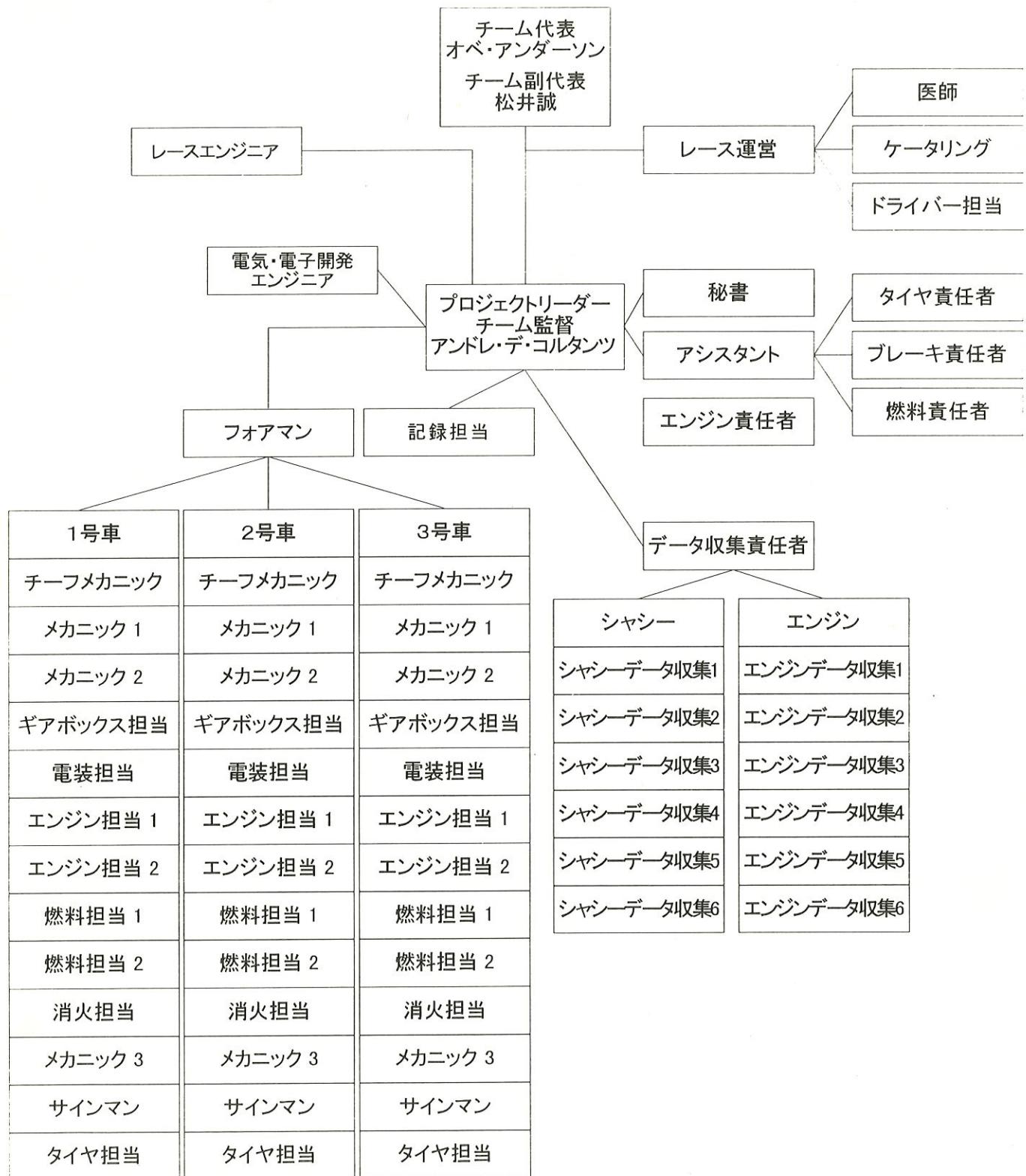
- 1972年～ トヨタ自動車工業（株）入社 エンジン設計を担当
- 1980年～ エンジンの開発企画、及びグループBセリカの企画に参画
- 1987年 グループCのエンジン設計を担当
- 1989～1992年 TTE駐在
- 1993年 トヨタ自動車モータースポーツ部にてWRCを担当
- 1996年 TMG（TTE）出向 TMG（TTE）副社長



TOYOTA
motor sports

TTE
TOYOTA TEAM EUROPE

TOYOTA motorsportsチーム組織図



TOYOTA
motor sports

TTE
TOYOTA TEAM EUROPE

トヨタ ル・マン戦績

(ワークス参戦及びプライベーター支援)

年	車種	搭載エンジン	チーム	ドライバー	成績
1975	シグマMC75／トヨタ	2T-G改(1600cc)	サード	鮎子田寛／高橋晴邦／森泰章	リタイア
1985	トムス85C-L	4T-GT改(2090cc)	トムス	中嶋悟／関谷正徳／星野薰	12位
	童夢85C-L		童夢	G. リース／E. エルグ／鈴木利男	リタイア
1986	トムス86C-L	4T-GT改(2090cc)	トムス	中嶋悟／G. リース／関谷正徳	リタイア
	童夢86C-L		童夢	E. エルグ／B. ガビアーニ／鈴木利男	リタイア
1987	トムス87C-L	3S-GT改(2140cc)	トムス	A. ジョーンズ／G. リース／E. エルグ	リタイア
				T. ニーデル／関谷正徳／星野薰	リタイア
1988	トムス88C-L	3S-GT改(2140cc)	トムス	G. リース／関谷正徳／星野薰	12位
				P. バリッラ／T. ニーデル／小河等	24位
1989	トムス89C-V	R32V(3169cc)	トムス	小河等／P. バリッラ／R. チーバー	リタイア
	トムス88C			J. ダンフリーズ／G. リース／J. ワトソン	リタイア
				星野薰／鈴木恵一／D. アルツエ	リタイア
1990	トムス90C-V	R36V (3576cc)	トムス	G. リース／関谷正徳／小河等	6位
				鈴木亜久里／J. ダンフリーズ／R. ラバグリア	リタイア
	サード90C-V		サード	P. ラファネル／R. ラツエンバーガー／長坂尚樹	リタイア
1992	トヨタTS010	RV10 (3497cc)	トムス	関谷正徳／P. ラファネル／K. アチソン	2位
				J. ラマース／A. ウォーレス／T. ファビ	8位
				G. リース／D. ブラバム／片山右京	リタイア
1993	サード92C-V	R36V(3576cc)	サード	R. ラツエンバーガー／E. エルグ／E. アーバイン	9位
	トラスト92C-V		トラスト	G. フーシェ／S. アンドスカー／S. ヨハンソン	5位
1994	トヨタTS010	RV10 (3497cc)	トムス	関谷正徳／鈴木利男／E. アーバイン	4位
				P. ラファネル／K. アチソン／A. ウォーレス	リタイア
				G. リース／J. ラマース／J. ファンジオⅡ	8位
1995	サード93C-V	R36V(3576cc)	サード	R. ラツエンバーガー／M. マルティニ／長坂尚樹	5位
	トラスト93C-V		トラスト	G. フーシェ／S. アンドスカー／E. エルグ	6位
1996	サード94C-LM	R36V(3576cc)	サード	E. アーバイン／M. マルティニ／J. クロスノフ	2位
	トラスト94C-LM		トラスト	G. フーシェ／S. アンドスカー／B. ウォーレック	4位
1995	サード・スープラGT-LM	3S-GT改(2140cc)	サード	M. アピチェラ／M. マルティニ／J. クロスノフ	14位
1996	サード・スープラLM-GT	3S-GT改(2140cc)	サード	関谷正徳／影山正美／光貞秀俊	リタイア

TOYOTA
motor sports

TTE
TOYOTA TEAM EUROPE

ドライバー・プロフィール

Ukyo Katayama (片山右京)

生年月日：1963年5月29日

出身地：日本

- 1983年 レースデビュー 筑波FJ1600 Bシリーズへ参戦 年間優勝
 1984年 鈴鹿FJ1600 Aクラスへ参戦 年間優勝
 1985年 F3へ参戦 総合6位、 フォーミュラ・ルノーレーシングスクールへ留学
 1986年 フォーミュラ・ルノー フランス国内選手権へ参戦
 1987年 フランスF3シリーズへ参戦
 1988年 国内F3000シリーズへ参戦 年間11位、 ル・マン24時間レースへ参戦(チーム・クラージュ)
 1989年 国内F3000シリーズへ参戦、 FIA国際F3000選手権シリーズへ参戦、 全日本ツーリングカー選手権シリーズへ参戦
 1990年 国内F3000シリーズへ参戦 年間5位
 1991年 国内F3000シリーズへ参戦
 1992年 F1へ参戦(ラルース)、 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタ・チーム・トムス)
 1993年 F1へ参戦(ティレル)
 1994年 F1へ参戦(ティレル) 年間17位
 1995年 F1へ参戦(ティレル)
 1996年 F1へ参戦(ティレル)
 1997年 F1へ参戦(ミナルディ)
 1998年 TOYOTA motorsports からトヨタTS020 でル・マン24時間レースへ参戦

Toshio Suzuki (鈴木利男)

生年月日：1955年3月10日

出身地：日本

- 1975年 全日本カート選手権へ参戦 優勝
 1976年 全日本カート選手権へ参戦 優勝、 香港国際カートGPへ参戦 総合2位
 1979年 全日本F3シリーズへ参戦 優勝
 1980年 イギリスF3シリーズへ参戦
 1981年 イギリスF3シリーズへ参戦
 1982年 全日本F2シリーズへ参戦 年間22位
 1983年 全日本F2シリーズへ参戦 年間13位
 1984年 全日本F2シリーズへ参戦 年間8位
 1985年 全日本スポーツカー選手権へ参戦、 全日本グループA選手権へ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1986年 全日本スポーツカー選手権へ参戦、 全日本グループA選手権へ参戦 年間4位、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1987年 全日本F3000シリーズへ参戦 年間5位、 全日本グループA選手権へ参戦 年間2位、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1988年 全日本グラン・チャピオン・シリーズへ参戦 年間8位、 全日本グループA選手権へ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1989年 全日本F3000シリーズへ参戦 年間17位、 全日本スポーツカー選手権へ参戦、 全日本グループA選手権へ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1990年 全日本F3000シリーズへ参戦、 全日本スポーツカー選手権へ参戦 年間2位
 全日本グループA選手権へ参戦 年間優勝、 ル・マン24時間レースへ参戦 総合5位
 1991年 全日本F3000シリーズへ参戦 年間16位、 全日本スポーツカー選手権へ参戦 年間優勝
 全日本グループA選手権へ参戦 年間2位
 1992年 デイトナ24時間レースへ参戦 総合優勝、 全日本F3000シリーズへ参戦 年間2位
 全日本スポーツカー選手権へ参戦 年間優勝
 1993年 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタ・チーム・トムス) 総合4位、 全日本F3000シリーズへ参戦 年間5位
 全日本グループA選手権へ参戦 年間2位、 F1日本GPへ参戦(ラルース) 12位
 F1オーストラリアGPへ参戦(ラルース) 14位
 1994年 全日本F3000シリーズへ参戦 年間15位、 全日本GTカー選手権へ参戦 年間5位
 アジアパシフィック・ツーリングカー選手権マカオGPへ参戦、 アジアパシフィック・ツーリングカー選手権ニュージーランドGPへ参戦
 1995年 全日本F3000シリーズへ参戦 年間優勝、 全日本GTカー選手権へ参戦 年間3位
 全日本ツーリングカー選手権へ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1996年 全日本F3000シリーズへ参戦 年間12位、 全日本GTカー選手権へ参戦 年間10位
 ル・マン24時間レースへ参戦、 NASCAR第10戦へ参戦
 1997年 全日本F3000シリーズへ参戦 年間13位、 全日本GTカー選手権へ参加 年間3位
 1998年 TOYOTA motorsports からトヨタTS020 でル・マン24時間レースへ参戦

Keiichi Tsuchiya (土屋圭市)

生年月日：1956年1月30日

出身地：日本

- 1977年 レースデビュー
 1984年 富士フレッシュマン・レースへ参戦 6連勝
 1985年 全日本グループA選手権へ参戦
 1991年 全日本グループA選手権へ参戦
 1992年 全日本グループA選手権へ参戦
 1993年 全日本グループA選手権へ参戦(オートポリス戦優勝)、 N1耐久レースへ参戦 年間3位
 1994年 全日本GT選手権へ参戦(菅生戦優勝)、 全日本ツーリングカー選手権へ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1995年 全日本GT選手権へ参戦、 全日本ツーリングカー選手権へ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦(クラス優勝)
 鈴鹿1000kmレースへ参戦(クラス優勝)
 1996年 全日本GT選手権へ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦(クラス3位)、 鈴鹿1000kmレースへ参戦
 鈴鹿NASCARへ参戦
 1997年 全日本GT選手権へ参戦、 全日本ツーリングカー選手権 インターテックへ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦
 鈴鹿1000kmレースへ参戦、 鈴鹿NASCARへ参戦
 1998年 TOYOTA motorsports からトヨタTS020 でル・マン24時間レースに参戦



Thierry Boutsen(ティエリー・ブツエン)

生年月日：1957年7月13日

出身地：ベルギー

- 1977年 レース デビュー
 1978年 フォーミュラ・フォード 優勝
 1979年 F3(英国選手権、ヨーロッパ選手権)参戦
 1980年 F3 ヨーロッパ選手権 準優勝
 1981年 F2 ヨーロッパ選手権 準優勝、ル・マン24時間レースへ参戦
 1982年 F2 ヨーロッパ選手権参戦 年間3位
 1983年 F1へ参戦(アロウズ)、WSPCモンツァ戦へ参戦 優勝、ル・マン24時間レースへ参戦
 1984年 F1へ参戦(アロウズ)、WSPCニュルブルクリンク戦へ参戦 準優勝
 1985年 F1へ参戦(アロウズ)、デイトナ24時間レース 優勝
 1986年 F1へ参戦(アロウズ)、WSPCスパ戦で優勝、WSPCチャンピオン獲得、ル・マン24時間レースへ参戦
 1987年 F1へ参戦(ベネトン) 年間3位
 1988年 F1へ参戦(ベネトン) 年間4位
 1989年 F1へ参戦(ウイリアムズ) 年間5位(カナダ、オーストラリア戦で優勝)
 1990年 F1へ参戦(ウイリアムズ) 年間6位(ハンガリー戦で優勝)
 1991年 F1へ参戦(リジェ)
 1992年 F1へ参戦(リジェ)
 1993年 F1へ参戦(ジョーダン)、ル・マン24時間レースへ参戦 2位
 1994年 ドイツSTWカップへ参戦 年間10位、ル・マン24時間レースへ参戦 総合3位(GTクラス2位)
 1995年 ドイツSTWカップへ参戦、ル・マン24時間レースへ参戦 総合8位(WSCクラス2位)
 1996年 BPR耐久レースへ参戦(ブランズ・ハッチ、スパ戦で優勝)、ル・マン24時間レースへ参戦 総合2位(GT1クラス優勝)
 1997年 FIA GTシリーズへ参戦、ル・マン24時間レースへ参戦
 1998年 TOYOTA motorsports からトヨタTSO20 でル・マン24時間レースに参戦

Martin Brundle(マーティン・ブランドル)

生年月日：1959年6月1日

出身地：イギリス

- 1977年 レース デビュー
 1979年 フォーミュラ・フォードへ参戦
 1980年 フォーミュラ・フォードへ参戦
 1981年 ツーリングカー選手権へ参戦
 1983年 F3へ参戦 準優勝、ヨーロッパツーリングカー選手権へ参戦
 1984年 F1へ参戦(ティレル) デトロイト戦2位、ブラジル戦5位
 1985年 F1へ参戦(ティレル)、WSPCへ参戦(モスボル戦3位、スパ戦5位)
 1986年 F1へ参戦(ティレル) 年間11位
 1987年 F1へ参戦(ザクスピード) 年間18位、WSPCへ参戦(モンツァ戦優勝)、ル・マン24時間レースへ参戦
 1988年 WSPCへ参戦 年間優勝、IMSAシリーズへ参戦 年間5位(デイトナ戦優勝、マイアミ戦2位)、ル・マン24時間レースへ参戦
 1989年 F1へ参戦(ブラバム) 年間18位
 1990年 WSPCへ参戦 年間8位(シルバーストーン戦優勝)、IMSAシリーズへ参戦(デイトナ戦2位)
 IROCシリーズへ参戦 年間3位、ル・マン24時間レースへ参戦 総合優勝
 1991年 F1へ参戦(ブラバム) 年間15位、WSCへ参戦(モンツァ戦優勝)
 1992年 F1へ参戦(ベネトン) 年間6位(イタリア戦2位)
 1993年 F1へ参戦(リジェ) 年間7位(サン・マリノ戦3位)
 1994年 F1へ参戦(マクラーレン) 年間7位(モナコ戦2位)
 1995年 F1へ参戦(リジェ) 年間13位(ベルギー戦3位)
 1996年 F1へ参戦(ジョーダン) 年間11位
 1997年 ル・マン24時間レースへ参戦
 1998年 TOYOTA motorsports からトヨタTSO20 でル・マン24時間レースに参戦

Emmanuel Collard(エマニュエル・コラール)

生年月日：1971年4月3日

出身地：フランス

- 1982年 レース デビュー
 1985年 フランス国内カート選手権へ参戦
 1988年 世界カート選手権へ参戦
 1989年 フォーミュラ・ルノー選手権へ参戦 年間2位(シーズン5勝)
 1990年 フォーミュラ・ルノー選手権へ参戦 年間優勝(シーズン4勝)、F1テスト・ドライバー(リジェ)契約
 1991年 フランス国内F3へ参戦、ヨーロッパF3000 2戦へ参戦、F1テスト・ドライバー(リジェ)契約
 1992年 ヨーロッパF3000へ参戦 年間8位
 1993年 ヨーロッパF3000へ参戦 年間11位
 1994年 ポルシェ・スーパーカップへ参戦 年間2位、F1テスト・ドライバー(リジェ)契約
 1995年 ポルシェ・スーパーカップへ参戦 年間3位、F1テスト・ドライバー(ベネトン)契約
 ル・マン24時間レースへ参戦
 1996年 ポルシェ・スーパーカップへ参戦 年間優勝、ズーハイGTレースへ参戦 優勝、F1テスト・ドライバー、
 バックアップ・ドライバー(ティレル)契約、ル・マン24時間レースへ参戦 総合7位(プロトタイプクラス2位)
 1997年 GT選手権へ参戦、ル・マン24時間レースへ参戦
 1998年 TOYOTA motorsports からトヨタTSO20 でル・マン24時間レースに参戦



Eric Hellary (エリック・ヘラリー)

生年月日：1966年8月10日

出身地：フランス

- 1979年 レース デビュー
 1984年 フランス国内ジュニア・カートシリーズへ参戦 年間優勝
 1986年 フランス国内ジュニア・クラス・ブルーへ参戦 年間優勝
 1987年 フォーミュラ・フォード選手権へ参戦 年間4位
 1988年 フランス国内FF1600選手権へ参戦 年間優勝
 1989年 フランス国内F3へ参戦 年間4位
 1990年 フランス国内F3へ参戦 年間優勝
 1991年 ヨーロッパF3000選手権へ参戦 年間8位
 1992年 フランス国内ブジョー・スパイダー選手権へ参戦 年間2位、 ブジョー・スパイダー・ヨーロッパ選手権へ参戦 年間優勝
 WSC マニー・クール戦へ参戦 2位
 1993年 ル・マン24時間レースへ参戦 優勝、 フランス国内ブジョー・スパイダー選手権へ参戦 年間2位
 フランス国内ポルシェ・カレーラカップへ参戦
 1994年 フランス国内スーパーツーリングカー選手権へ参戦 年間5位、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1995年 フランス国内スーパーツーリングカー選手権へ参戦 年間2位、 イギリス GT選手権へ参戦
 ル・マン24時間レースへ参戦 総合2位(WSCクラス優勝)
 1996年 イギリス GT選手権へ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1997年 ル・マン24時間レースへ参戦 総合3位(GT1クラス2位)
 1998年 TOYOTA motorsports からトヨタTS020 でル・マン24時間レースに参戦

Ralf Kelleners (ラルフ・ケレナーズ)

生年月日：1968年5月18日

出身地：デンマーク

- 1986年 レース デビュー
 1987年 フォーミュラ・フォードへ参戦 年間優勝
 1988年 ドイツ国内F3へ参戦
 1989年 ドイツ国内F3へ参戦
 1990年 ドイツ国内グループN選手権へ参戦
 1993年 ドイツ国内GT選手権へ参戦
 1994年 ドイツ国内GT選手権へ参戦 年間優勝
 1995年 ドイツ国内GT選手権へ参戦 年間2位、 イギリス GT選手権へ参戦
 1996年 ル・マン24時間レース参戦 (GT2クラス優勝)、 イギリス GT選手権へ参戦、 ポルシェ・カレラカップ年間優勝
 ズーハイ GTレースへ参戦 優勝、 ポルシェ・スーパーカップへ参戦
 1997年 FIA GT選手権へ参戦 年間16位、 ル・マン24時間レースへ参戦
 1998年 TOYOTA motorsports からトヨタTS020 でル・マン24時間レースに参戦

Geoff Lees (ジェフ・リース)

生年月日：1951年5月1日

出身地：イギリス

- 1971年 レース デビュー
 1975年 フォーミュラー・フォード 優勝
 1976年 イギリス国内F3選手権へ参戦 年間3位
 1977年 イギリス国内F3選手権へ参戦 年間4位
 1978年 英国F1シリーズへ参戦 年間6位
 1979年 CanAm選手権へ参戦 年間3位、 F1参戦(ティレル)(ホッケンハイム7位)、 マカオGPへ参戦 優勝
 1980年 F1へ参戦(ウイリアムズ)、 ヨーロッパF2にスポット参戦
 1981年 ヨーロッパF2へ参戦(シーズン3勝)
 1982年 ル・マン24時間レースへ参戦
 1983年 日本国内F2へ参戦 年間優勝
 1984年 日本国内F2へ参戦 年間優勝
 1985年 日本国内F2へ参戦、 日本グランド・チャンピオンシリーズへ参戦、
 鈴鹿1000kmレースへ参戦 優勝、 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタ童夢)
 1986年 日本国内F2へ参戦 年間3位、 日本グランド・チャンピオンシリーズへ参戦、
 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタチーム・トムス)
 1987年 JSPECへ参戦 年間3位、 日本F3000選手権へ参戦、 日本グランド・チャンピオンシリーズへ参戦 年間優勝、
 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタチーム・トムス)
 1988年 日本グランド・チャンピオンシリーズへ参戦 年間優勝、 JSPECへ参戦、 日本F3000選手権へ参戦 年間4位
 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタチーム・トムス)
 1989年 WSPCへ参戦、 JSPECへ参戦 (鈴鹿戦2位)、 日本グランド・チャンピオンシリーズへ参戦 年間優勝
 日本F3000選手権へ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタチーム・トムス)
 1990年 WSPCへ参戦 (鈴鹿戦4位)、 JSPECへ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタチーム・トムス) 総合6位
 1991年 JSPECへ参戦 年間5位(菅生戦優勝)
 1992年 WSCへ参戦 年間5位(モンツァ戦優勝、 鈴鹿戦2位)、 JSPECへ参戦、 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタチーム・トムス)
 1993年 ル・マン24時間レースへ参戦(トヨタチーム・トムス) 総合8位(クラス5位)
 1995年 ル・マン24時間レースへ参戦
 1996年 ル・マン24時間レースへ参戦、 イギリス GTカー選手権へスポット参戦
 1997年 ル・マン24時間レースへ参戦、 FIA GTカー選手権へスポット参戦
 1998年 TOYOTA motorsports からトヨタTS020 でル・マン24時間レースに参戦

